集計欄は数字で記入

木造建築物の応急危険度判定調査表

木

整理番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　調査日時＿＿月＿＿日　午前・午後＿＿時　調査回数＿＿回目

整理番号

調査者氏名（都道府県/Ｎｏ）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（＿＿＿＿＿＿/＿＿＿＿＿＿）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（＿＿＿＿＿＿/＿＿＿＿＿＿）

建築物番号

建築物概要

1　建築物名称 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　1.1 **建築物番号** ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

住宅地図整理番号

2　建築物所在地 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　2.1 **住宅地図整理番号** ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

3　**建築物用途**　1.戸建て専用住宅　2.長屋住宅　3.共同住宅　4.併用住宅　5.店舗　6.事務所　7.旅館・ホテル　8.庁舎等公共施設　9.病院・診療所　10.保育所　11.工場　12.倉庫　13.学校　14.体育館　15.劇場、遊戯場等　16.その他(　　)　3

4　**構造形式**　1.在来軸組構法　2.枠組(壁)工法(ﾂｰﾊﾞｲﾌｫｰ)　3.プレファブ　4.その他(　　)　4

5　**階数**　1.平屋　2.２階建て　3.その他（　　）　5　階

6　**建築物規模**　１階寸法　約 ア＿＿＿＿m×イ＿＿＿＿m　ア　m　イ　m

調査　**調査方法：(1.外観調査のみ実施　2.内観調査も併せて実施)**

調査方法

1　一見して危険と判断される。(該当する場合は○を付け危険と判定し調査を終了し**総合判定**へ)

1.建築物全体又は一部の崩壊・落階	2.基礎の著しい破壊、上部構造との著しいずれ	
3.建築物全体又は一部の著しい傾斜	4.その他(　　)	**1**

2　隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

	Ａランク	Ｂランク	Ｃランク	
①隣接建築物・周辺地盤の破壊による危険	1.危険無し	2.不明確	3.危険あり	①
②構造躯体の不同沈下	1.無し又は軽微	2.著しい床、屋根の落ち込み、浮き上がり	3.小屋組の破壊、床全体の沈下	②
③基礎の被害	1.無被害	2.部分的	3.著しい(被害あり)	③
④建築物の１階の傾斜	1．1/60以下	2．1/60～1/20	3．1/20超	④
⑤壁の被害	1.軽微なひび割れ	2.大きな亀裂、剥離	3.落下の危険有り	⑤
⑥腐食・蟻害の有無	1.ほとんど無し	2.一部の断面欠損	3.著しい断面欠損	⑥
危険度の判定	1.調査済み 全部Ａランクの場合 （要　内観調査）	2.要注意 Ｂランクが１以上ある場合	3.危険 Ｃランクが１以上ある場合	判定

3　落下危険物・転倒危険物に関する危険度

	Ａランク	Ｂランク	Ｃランク	
①瓦	1.ほとんど無被害	2.著しいずれ	3.全面的にずれ、破損	①
②窓枠・窓ガラス	1.ほとんど無被害	2.歪み、ひび割れ	3.落下の危険有り	②
③外装材　湿式の場合	1.ほとんど無被害	2.部分的なひび割れ、隙間	3.顕著なひび割れ、剥離	③
④外装材　乾式の場合	1.目地の亀裂程度	2.板に隙間が見られる	3.顕著な目地ずれ、板破損	④
⑤看板・機器類	1.傾斜無し	2.わずかな傾斜	3.落下の危険有り	⑤
⑥屋外階段	1.傾斜無し	2.わずかな傾斜	3.明瞭な傾斜	⑥
⑦その他(　　)	1.安全	2.要注意	3.危険	⑦
危険度の判定	1.調査済み 全部Ａランクの場合	2.要注意 Ｂランクが１以上ある場合	3.危険 Ｃランクが１以上ある場合	判定

総合判定（**調査**の**1**で危険と判定された場合は危険、それ以外は**調査**の**2**と**3**の大きい方の危険度で判定する。）

総合判定

1．調査済(緑)　2．要注意(黄)　3．危　険(赤)

コメント（構造躯体等が危険か、落下物等が危険かなどを記入する。）

コメントは判定ステッカーの注記と同じとする。

集計欄は数字で記入

鉄筋及び鉄骨鉄筋コンクリート造建築物等の応急危険度判定調査表

RC

整理番号＿＿＿＿＿＿＿＿　調査日時＿＿月＿＿日　午前・午後＿＿時　調査回数＿＿回目

調査者氏名（都道府県/Ｎｏ）＿＿＿＿＿＿＿＿（＿＿＿＿＿＿/＿＿＿＿＿＿）

＿＿＿＿＿＿＿＿（＿＿＿＿＿＿/＿＿＿＿＿＿）

整理番号

建築物番号

住宅地図整理番号

建築物概要

1　建築物名称 ＿＿＿＿＿＿＿＿　1.1 **建築物番号** ＿＿＿＿＿＿＿＿

2　建築物所在地 ＿＿＿＿＿＿＿＿　2.1 **住宅地図整理番号** ＿＿＿＿＿＿＿＿

3　**建築物用途**　1.戸建て専用住宅　2.長屋住宅　3.共同住宅　4.併用住宅　5.店舗　6.事務所　7.旅館・ホテル　8.庁舎等公共施設　9.病院・診療所　10.保育所　11.工場　12.倉庫　13.学校　14.体育館　15.劇場、遊戯場等　16.その他(　　)　3

4　**構造種別**　1.鉄筋コンクリート造　2.プレキャストコンクリート造　3.ブロック造　4.鉄骨鉄筋コンクリート造　5.混合構造(＿＿＿＿＿＿)と(＿＿＿＿＿＿)　4

5　**階数**　地上＿＿＿＿階　地下＿＿＿＿階　地上　階　地下　階

6　**建築物規模**　１階寸法　約 ア＿＿＿＿m×イ＿＿＿＿m　ア　m　イ　m

調査　**調査方法：(1.外観調査のみ実施　2.内観調査も併せて実施)**

調査方法

1　一見して危険と判断される。(該当する場合は○を付け危険と判定し調査を終了し**総合判定**へ)

1.建築物全体又は一部の崩壊・落階	2.基礎の著しい破壊、上部構造との著しいずれ	
3.建築物全体又は一部の著しい傾斜	4.その他(　　)	1

2　隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

		Aランク	Bランク	Cランク	判定(1)
判定(1)	**①損傷度III以上の損傷部材の有無**	1.無し	2.あり		①
判定(2)	**②隣接建築物・周辺地盤の破壊による危険**	1.危険無し	2.不明確	3.危険有り	②
	③地盤破壊による建築物全体の沈下	1．0.2m以下	2．0.2m～1.0m	3．1.0m超	③
	④不同沈下による建築物全体の傾斜	1．1/60以下	2．1/60～1/30	3．1/30超	④
	柱の被害〔下記⑤⑥の調査階(被害最大の階)＿＿＿階〕(壁構造の場合は柱を壁の長さに読みかえる)				柱の被害最大の階
	⑤損傷度Ⅴの柱本数/調査柱本数　損傷度Ⅴの柱の総数＿＿本　調査柱＿＿本　(調査率＿＿%)				
		1．１%以下	2．１%～１０%	3．１０%超	⑤
	⑥損傷度Ⅳの柱本数/調査柱本数　損傷度Ⅳの柱の総数＿＿本　調査柱＿＿本　(調査率＿＿%)				⑥
		1．１０%以下	2．１０%～２０%	3．２０%超	
	判定(2)	1.調査済 全部Aランクの場合	2.要注意 Bランクが１の場合	3.危険 Cランクが１以上又はBランクが２以上	判定(2)

危険度の判定 判定(1)と判定(2)のうち大きな方の危険度で判定する	1.調査済み (要内観調査)	2.要注意	3.危険	判定

3　落下危険物・転倒危険物に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク	
①窓枠・窓ガラス	1.ほとんど無被害	2.歪み、ひび割れ	3.落下の危険有り	①
②外装材　湿式の場合	1.ほとんど無被害	2.部分的なひび割れ、隙間	3.顕著なひび割れ、剥離	②
③外装材　乾式の場合	1.目地の亀裂程度	2.板に隙間がみられる	3.顕著な目地ずれ、板破損	③
④看板・機器類	1.傾斜無し	2.わずかな傾斜	3.落下の危険有り	④
⑤屋外階段	1.傾斜無し	2.わずかな傾斜	3.明瞭な傾斜	⑤
⑥その他(　　)	1.安全	2.要注意	3.危険	⑥
危険度の判定	1.調査済み 全部Aランクの場合	2.要注意 Bランクが１以上ある場合	3.危険 Cランクが１以上ある場合	判定

総合判定（**調査**の**1**で危険と判定された場合は危険、それ以外は**調査**の**2**と**3**の大きい方の危険度で判定する。）　**総合判定**

1．調査済(緑)　　2．要注意(黄)　　3．危　険(赤)

コメント（構造躯体等が危険か、落下物等が危険かなどを記入する。）

コメントは判定ステッカーの注記と同じとする。

集計欄は数字で記入

S

鉄骨造建築物の応急危険度判定調査表

整理番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　調査日時＿＿月＿＿日　午前・午後＿＿時　調査回数＿＿回目

調査者氏名（都道府県/Ｎｏ）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（＿＿＿＿＿＿/＿＿＿＿＿＿）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（＿＿＿＿＿＿/＿＿＿＿＿＿）

整理番号

建築物番号

住宅地図整理番号

建築物概要

1　建築物名称＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　1.1　**建築物番号**＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

2　建築物所在地＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　2.1　**住宅地図整理番号**

3　**建築物用途**　1.戸建て専用住宅　2.長屋住宅　3.共同住宅　4.併用住宅　5.店舗　6.事務所　7.旅館・ホテル　8.庁舎等公共施設　9.病院・診療所　10.保育所　11.工場　12.倉庫　13.学校　14.体育館　15.劇場、遊戯場等　16.その他(　　)　3

4　**構造形式**　1.ラーメン構造　2.ブレース構造　3.プレファブ　4.その他(　　)　4

5　**階数**　地上＿＿＿＿階　地下＿＿＿＿階　地上　階　地下　階

6　**建築物規模**　１階寸法　約 ア＿＿＿＿m×イ＿＿＿＿m　ア　m　イ　m

調査　**調査方法：(1.外観調査のみ実施　2.内観調査も併せて実施)**

調査方法

1　一見して危険と判断される。(該当する場合は○を付け危険と判定し調査を終了し**総合判定**へ)

1.建築物全体又は一部の崩壊・落階	2.基礎の著しい破壊、上部構造との著しいずれ
3.建築物全体又は一部の著しい傾斜	4.その他(　　)

1

2　隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

		Aランク	Bランク	Cランク	
①隣接建築物・周辺地盤の破壊による危険		1.危険無し	2.不明確	3.危険有り	①
②不同沈下による建築物全体の傾斜		1．1/300以下	2．1/300～1/100	3．1/100超	②
③建物全体又は一部の傾斜					③
	傾斜を生じた階の上の階数が１階以下の場合	1．1/100以下	2．1/100～1/30	3．1/30超	
	傾斜を生じた階の上の階数が２階以上の場合	1．1/200以下	2．1/100～1/50	3．1/50超	
被害最大の階（階）	**④部材の座屈の有無**	1.無し	2.局部座屈あり	3.全体座屈あるいは著しい局部座屈	④
	⑤筋違の破断率	1．20%以下	2．20%～50%	3．50%超	⑤
	⑥梁柱接合部及び継手の破壊	1.無し	2.一部破断又は亀裂	3.20%以上の破断	⑥
	⑦柱脚の破損	1.無し	2.部分的	3.著しい	⑦
	⑧腐食の有無	1.ほとんど無し	2.各所に著しい錆	3.孔食が各所に見られる	⑧
危険度の判定		1.調査済み 全部Aランクの場合(要内観調査)	2.要注意 Bランクが３以内の場合	3.危険 Cランクが１以上又はBランクが４以上	

被害最大の階

階

判定

3　落下危険物・転倒危険物に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク	
①屋根材	1.ほとんど無被害	2.著しいずれ	3.全面的にずれ、破損	①
②窓枠・窓ガラス	1.ほとんど無被害	2.歪み、ひび割れ	3.落下の危険有り	②
③外装材　湿式の場合	1.ほとんど無被害	2.部分的なひび割れ、隙間	3.顕著なひび割れ、剥離	③
④外装材　乾式の場合	1.目地の亀裂程度	2.板に隙間が見られる	3.顕著な目地ずれ、板破損	④
⑤看板・機器類	1.傾斜無し	2.わずかな傾斜	3.落下の危険有り	⑤
⑥屋外階段	1.傾斜無し	2.わずかな傾斜	3.明瞭な傾斜	⑥
⑦その他(　　)	1.安全	2.要注意	3.危険	⑦
危険度の判定	1.調査済み 全部Aランクの場合	2.要注意 Bランクが１以上ある場合	3.危険 Cランクが１以上ある場合	

判定

総合判定（**調査**の**1**で危険と判定された場合は危険、それ以外は**調査**の**2**と**3**の大きい方の危険度で判定する。）

総合判定

1．調査済(緑)　　2．要注意(黄)　　3．危　険(赤)

コメント（構造躯体等が危険か、落下物等が危険かなどを記入する。）

コメントは判定ステッカーの注記と同じとする。